

多く、硝酸態窒素が少ない)。堆肥だけのレタスは、根の割合が高く、良質堆肥が根づくりに効いていることも分かりました。

手順3は、堆肥と肥料の施し方の例です。14、15頁で見たように、堆肥の溝底施用で深い根系をつくり、成長につれて株元からうね面、通路へと堆肥を表面施用（堆肥マルチ）して根の伸びを誘いながら、そこに追肥を施していくというアイデアです。トマトやキュウリなど長期間収穫する果菜のプロ農家が、これで野菜の元気を持続しています。

手順2 堆肥の成分量を引いて元肥の施肥量を求める

